平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場会社名　株式会社クリエイトSDホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　3148　URL　http://www.createsdhd.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 若尾鐵志郎
問合せ先責任者 (役職名) 財経部長　(氏名) 山崎哲也　TEL 045-914-8241

四半期報告書提出予定日　平成24年1月13日　配当支払開始予定日　平成24年2月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	83,811	11.2	4,519	4.3	4,679	4.5	2,614	6.0
23年5月期第2四半期	75,350	0.4	4,333	6.7	4,476	5.5	2,466	37.5

(注)包括利益　24年5月期第2四半期　2,615百万円　(6.0%)　23年5月期第2四半期　2,466百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	117.41	—
23年5月期第2四半期	110.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	62,770	34,134	54.4
23年5月期	62,626	32,521	51.9

(参考) 自己資本　24年5月期第2四半期　34,134百万円　23年5月期　32,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	—	—	45.00	45.00
24年5月期	—	20.00			
24年5月期(予想)			—	25.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,445	7.5	7,918	△6.2	8,200	△6.2	4,491	△1.1	201.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	22,273,114 株	23年5月期	22,273,114 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	― 株	23年5月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	22,273,114 株	23年5月期2Q	22,273,114 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成24年1月19日に証券アナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料を、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
４．補足情報 ……12
（１）生産、受注及び販売の状況 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故による影響により企業の生産や輸出が一時低迷したものの、徐々に復旧が進み回復基調に転じてきております。一方、欧州の金融不安や米国の景気停滞による円高進行・株安等の不安材料も多く、景気の先行きは依然として不透明なまま推移しております。

ドラッグストア業界におきましては、大震災直後の自粛ムードが徐々に沈静化し、持ち直しの兆しが出てまいりましたが、雇用情勢の悪化や低所得などによる不安から消費マインドの低下が継続しております。また、他業種からの大衆薬販売への参入、競合他社の出店や価格競争の激化などにより、依然厳しい環境がつづいております。

このような状況の中で、当社グループは「セルフメディケーションを力強くサポートし、総合的な地域医療に貢献する」企業を目指して、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業を展開しております。

＜ドラッグストア事業＞

ドラッグストア事業につきましては、接客サービスの更なる充実と薬剤師及び登録販売者によるカウンセリング販売の強化により、顧客満足度の向上に取り組む一方、商品面では、「品質と価値をご提供」するためにプライベートブランド商品の開発、販売に継続して取り組んでおります。

新規出店につきましては、13店舗の出店を行いました。また、スクラップアンドビルド及び経営効率化の観点から２店舗の閉鎖を行いました。

＜調剤薬局事業＞

調剤薬局事業につきましては、地域医療機関との密接な関係を築くことにより処方箋応需枚数の増加を図るとともに、「調剤事故防止マニュアル」に基づき、正確な調剤業務の実施に努めてまいりました。また、老人ホーム等の介護施設に処方箋に基づいたお薬をお届けする「訪問服薬事業」を22ヶ所（前期末比４ヶ所増）の施設との連携により実施しております。

新規出店につきましては、８店舗（うち、ドラッグストアへの併設４店舗）を開設いたしました。

＜有料老人ホーム事業＞

有料老人ホーム事業につきましては、新規参入が相次ぎ、競争が激化する中、連結子会社ウェルライフ株式会社において、居住環境の整備を図り、サービスの向上に努めております。

＜デイサービス事業＞

デイサービス事業につきましては、連結子会社株式会社サロンデイが介護予防を目的とする機能訓練型デイサービスセンターの多店舗化により、事業拡大を目指しております。

新規施設につきましては、10施設（うち、ドラッグストアへの併設３施設）を開設いたしました。

以上により、当第２四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア事業ではドラッグストア340店舗、調剤薬局事業では調剤専門薬局21店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局36店舗の合計57店舗、有料老人ホーム事業では２施設、デイサービス事業では20施設となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高83,811百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は4,519百万円（同4.3%増）、経常利益は4,679百万円（同4.5%増）、四半期純利益は2,614百万円（同6.0%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は62,770百万円となり、前連結会計年度末に比べて143百万円増加いたしました。主な要因は、未収入金が498百万円、有価証券が6,000百万円減少、現預金が4,620百万円、商品が461百万円、新店及び出店準備物件の増加等に伴い固定資産が1,030百万円増加したことなどによるものです。

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は28,635百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,469百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付引当金が930百万円、未払法人税等が224百万円減少、未払費用が139百万円、ポイント引当金が60百万円増加したことなどによるものです。

当第２四半期連結会計期間末における純資産は34,134百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,612百万円増加いたしました。主な要因は、配当金1,002百万円による減少、四半期純利益2,614百万円を計上したことなどによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び同等物（以下「資金」という。）は14,084百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,379百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は1,678百万円（前年同期比1,021百万円の収入減）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4,659百万円、減価償却費993百万円、法人税等の還付額516百万円、退職給付信託設定等による退職給与引当金の減少額930百万円及び法人税等の支払額2,708百万円等の結果であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は2,006百万円（前年同期比887百万円の支出増）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出1,357百万円及び出店仮勘定による支出416百万円等の結果であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は1,051百万円となりました。これは長期借入金の返済49百万円、配当金の支払1,002百万円の結果であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月期の連結業績予想につきましては、平成23年７月11日に公表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

・退職給付引当金

当社の連結子会社である株式会社クリエイトエス・ディーは、退職給付財政の健全化を図るため、当第２四半期連結会計期間において現金1,000百万円を退職給付信託に拠出しました。これにより、退職給付引当金の残高が同額減少しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,463	11,084
売掛金	2,714	2,897
有価証券	9,000	3,000
商品	14,022	14,483
その他	4,370	4,238
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	36,559	35,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,144	6,346
土地	2,924	3,286
その他（純額）	2,152	2,189
有形固定資産合計	11,221	11,821
無形固定資産	203	184
投資その他の資産		
長期貸付金	5,805	6,167
敷金及び保証金	5,757	5,983
その他	3,103	2,943
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	14,641	15,069
固定資産合計	26,067	27,075
資産合計	62,626	62,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,189	20,094
未払法人税等	2,263	2,039
賞与引当金	119	118
役員賞与引当金	102	33
ポイント引当金	700	760
店舗閉鎖損失引当金	16	5
その他	3,778	3,611
流動負債合計	27,169	26,662
固定負債		
退職給付引当金	1,018	88
その他	1,916	1,885
固定負債合計	2,934	1,973
負債合計	30,104	28,635

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	30,584	32,197
株主資本合計	32,518	34,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
その他の包括利益累計額合計	2	3
純資産合計	32,521	34,134
負債純資産合計	62,626	62,770

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成22年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	75,350	83,811
売上原価	54,757	61,723
売上総利益	20,592	22,087
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	650	760
給料及び手当	5,979	6,450
賞与引当金繰入額	79	109
役員賞与引当金繰入額	51	33
退職給付費用	93	99
減価償却費	889	959
地代家賃	3,298	3,616
その他	5,217	5,540
販売費及び一般管理費合計	16,258	17,568
営業利益	4,333	4,519
営業外収益		
受取利息	58	60
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	39	39
その他	49	64
営業外収益合計	149	165
営業外費用		
支払利息	4	3
その他	1	1
営業外費用合計	5	4
経常利益	4,476	4,679
特別利益		
貸倒引当金戻入額	39	－
補助金収入	－	21
その他	2	0
特別利益合計	42	22
特別損失		
減損損失	43	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
固定資産除却損	1	18
固定資産圧縮損	－	21
その他	47	1
特別損失合計	202	42
税金等調整前四半期純利益	4,316	4,659
法人税等	1,850	2,044
少数株主損益調整前四半期純利益	2,466	2,614

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成22年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）
四半期純利益	2,466	2,614

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成22年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,466	2,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	2,466	2,615
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,466	2,615
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成22年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,316	4,659
減価償却費	898	993
減損損失	43	－
負ののれん償却額	△39	△39
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△39	△1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△30	△0
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△12	△69
ポイント引当金の増減額（△は減少）	50	60
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△45	△2
退職給付引当金の増減額（△は減少）	83	△930
受取利息及び受取配当金	△59	△61
支払利息	4	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
売上債権の増減額（△は増加）	△10	△183
たな卸資産の増減額（△は増加）	414	△490
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,391	△95
その他	462	27
小計	4,754	3,869
利息及び配当金の受取額	6	4
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△2,056	△2,708
法人税等の還付額	－	516
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,700	1,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△718	△1,357
無形固定資産の取得による支出	△5	△29
長期貸付けによる支出	△175	△395
長期貸付金の回収による収入	261	297
出店仮勘定による支出	△453	△416
その他	△27	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△2,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49	△49
配当金の支払額	△1,002	△1,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△1,051
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	529	△1,379
現金及び現金同等物の期首残高	12,525	15,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,054	14,084

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自平成23年６月１日 至平成23年11月30日）

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自平成22年６月１日 至平成22年11月30日）

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第２四半期連結累計期間（自平成23年６月１日 至平成23年11月30日）

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自平成23年６月１日 至平成23年11月30日）

該当事項はありません

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 販売実績

①事業別売上実績

当第２四半期連結累計期間における売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	
	金額(百万円)	前年同期比（%）
ドラッグストア事業		
医薬品	15,089	103.7
化粧品	14,062	105.8
食料品	29,048	120.8
日用雑貨品	16,012	109.5
その他	5,969	101.3
小　計	80,183	110.7
調剤薬局事業	3,185	125.3
有料老人ホーム事業	341	94.3
デイサービス事業	100	459.4
合　計	83,811	111.2

(注) １．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②地区別売上実績

当第２四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

期別 地区別	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成22年11月30日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	
	金額(百万円)	構成比（%）	金額(百万円)	構成比（%）
神奈川県	45,111	59.8	50,836	60.6
東京都	10,539	14.0	11,788	14.1
静岡県	11,442	15.2	12,694	15.1
埼玉県	2,635	3.5	2,743	3.3
千葉県	2,979	4.0	3,251	3.9
群馬県	1,028	1.4	834	1.0
茨城県	1,613	2.1	1,662	2.0
合　計	75,350	100.0	83,811	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第２四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	
	金額(百万円)	前年同期比（%）
ドラッグストア事業		
医薬品	9,544	108.0
化粧品	9,074	104.6
食料品	24,437	121.8
日用雑貨品	11,929	112.6
その他	4,746	110.2
小　計	59,732	113.8
調剤薬局事業	1,979	122.6
有料老人ホーム事業	―	―
デイサービス事業	―	―
合　計	61,712	114.1

(注) １．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。